県央

情報は支局へ

前橋
☎027・254・9933
Fax 027・252・5321

高崎
☎027・360・3536
Fax 027・360・3530

伊勢崎
☎0270・26・4343
Fax 0270・26・4342

購読のお申し込みは
0120・808046へ

大男伝説いつまでも

伊勢崎 殖蓮二小に解説板 設置

伊勢崎市下植木町の用水堀に昔架かっていた石の橋「二枚橋」と、橋を大洪水から守り抜いた大男の足跡とされる「鬼亀の足跡」の解説板が地元の伊勢崎殖蓮二小（木暮裕校長）に設置され、11日、除幕式が開かれた。地域住民や児童ら約100人が完成を祝った。

二枚橋と鬼亀の足跡

鬼亀の足跡（手前）と二枚橋とされる石

地域の伝説を児童に伝えようと、地元の殖蓮史談会が設置した。星野正明会長は6年生を前に「伝説を伝えて広げてほしい」と期待し、五十嵐清隆市長は「地元の人が災害から地域を守ったことが伝説の題材になったのではないか。これを学び、地域のために活躍できる人になってほしい」と語り掛けた。

解説板によると、下植木村と蓮村の間の谷田堀に細長い石を並べた橋を架けたが、完成直後に大雨に見舞われた。見知らぬ大男が堀の中に入り、顔が水で見えなくなっても手で橋を押さえて守った。大男が乗った石には踏ん張った際の足跡が刻まれたという。

同会によると、二枚橋は江戸時代に架けられたとみられ、校舎南側にあったという。明治時代の地図には「二枚橋」と地名として記されている。橋とされる石は長年校庭に置かれ、1カ月ほど前にやや西側の解説板近くに鬼亀の足跡とともに移された。

児童からは「ずっと伝えていきたい。僕も伝説に残りたい」との感想が上がった。

木暮校長は「解説板を十分に活用していきたい」と話した。

地域の伝説を児童に伝える解説板

大輪華やか 菊花大会

病院 まるで劇場

前橋 高校生がミュージカル

前橋市内の高校生でつくるミュージカル同